

東京亀城会々報

第32号
発行
平成24年5月31日



最上の流れにうるほふ里の
学び舎みどりの希望はみちて
明るしや 清けしや
我らの園 我らの門
あしたに夕べに集ふ
手を引き助けて円かに睦みて
愛あり仁ある人とならん



ああ見よ鳥海七千餘尺
虚空に聳ゆる巨人の姿
黙示に学びてわれらの健児
六百並んで高きに向ふ



〔昭和37年校舎正面（37回卒業アルバムより）〕

平成24年度 東京亀城会 総会・懇親会

- ◎日 時 6月30日（土） 15時より
- ◎会 場 大手町サンケイブラザ（4Fホール）
- ◎担当年次 37回、47回、57回、67回卒業

平成三年度

平成二三年六月二五日（土）

大手町サンケイプラザ

担当年次..三六回·四六回·

五六回・六六回卒業

懇親会出席

平成三年一月一九日

ホテルリッチ&ガーデン酒田

○如松同窓会（鶴岡北高）

○黎明同窓会東京支部（鶴岡中央）

○鶴翔同窓会（鶴岡南高）

○東京みやまちどり会(庄内総合高)

○城畔同窓会（鶴岡工業）

○紫紺会（酒田商高）

○ふれあい酒田

○ 拡大理事会 ..

平成三年 四月 九日

平成三年一月二六日

○執行理事会..

平成三年 六月 四日

平成三年 七月 九日

平成三年 一月二六日

平成二十四年 二月二十八日

平成二四年三月二四日

五、母校支援員会（ぜんご塾）

平
成
三
十
三
年
一
〇
月
二
九
日
珊
瑚

平成三三年一〇月二九日 珊瑚ホール
平成二四年三月一〇日 駒込学生会館

平成23年度決算案
平成24年度予算案

新役員候補

平成二四年四月一九日の東京亀城会拡大理事会で新役員案が審議され、次のようになりました。

○顧問 佐久間正、上林 茂
○相談役 藤井重信、越後谷悦

郎、阿部鏝一、佐藤郁雄、五十嵐昌士、土田善彦、本間英生、大滝千佐子、野口和

○会長…相川俊明(第33回)
○副会長…鳥海俊材(第31回)

本宮正幸
（第36回）
元大敵
（第2回）

元木 徹 (第42回)
 嵯谷英夫 (第3回)

阿部浩美 (第54回)

○監事.. 廣瀬 武 (第31回)

松岡 毅 (第38回)

○事務局長..石山尚徳(第49回)



総会に当り思うこと



東京亀城会会長
相川 俊明
(33回)

東日本大震災から一年が過ぎ、今年も総会を迎えようとしています。甚大な被害を蒙った教訓から「想定外」が見直されて新たな巨大地震を想定した災害モデルなどの発表がなされ、日本の半分位を覆う大きな被害予測に足がすくむ思いです。しかし日本は多くの海溝の端にあつて、火山列島でもあることからこの自然からの危険は宿命的で避けられないことを考えると、虚脱のまま止まっているよりも開き直って状況を克服してやろうという気持になります。

その克服には、行政や官僚に任せっきりの危機管理ではなく、国民（住民）参加や専門家の意見を十分に反映させた立案と実行が必要で、その場合の根拠になるのは、多分、虚脱と閉塞感から脱却するのは、国民一人一人の強い気持と人と人との連帯でしょう。

我々の集りはささやかかも知れませんが、その連帯を強めると共に母校支援活動を充実させ、さらに他校との絆も広めていけたらと思います。会員の皆様、今年も宜敷くお願いいたします。

歴史と伝統の酒東



亀城同窓会会長
杉山 健二
(37回)

東京亀城会平成二四年度総会開催おめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お元気で過ごすごしのこととお喜び申し上げます。

昨年は東日本大震災、福島原発の事故があり、被災された人々にとつて大変な年でありました。我が酒東も、石巻市に於いて昨年八月から一〇月末まで計四回、生徒、父兄、先生総勢四二〇名によるボランティア活動を実施しました。生徒諸君の今後の人生にとって大いに勉強になったことでしよう。

二三年度の生徒諸君の活躍、成績は、文武両道、質実剛健モットーの酒東生らしい素晴らしいものでした。インターハイへの出場はボート部、体操部、水泳部。また吹奏学部が酒田市希望ホールにおいての演奏会、文芸部は俳句部門で総合文化祭賞を受賞し、平成二四年度大会出場が決定したところであります。学業では、国公立大学の進学が一一一名と県下で二番目の成績となり「歴史と伝統の酒東ありき」と先生、父兄皆様共々歓喜に浸っております。

我が母校の百周年に向けて、酒東健児を育んでくれた酒田の大地での再会に乾杯し、東京亀城会の益々の発展をご祈念申し上げます。

挑戦意欲旺盛



酒田東高校長
富樫 郁遷
(48回)

東京亀城会の皆様方には、本校教育活動に絶大なご支援を賜り感謝申し上げます。

また、東京在住学生に対して夢を育む機会を頂戴し重ねて感謝申し上げます。

昭和五八年から二一年間本校にお世話になり、八年ぶりの母校への着任となります。

一八四名の新入生を迎え、総勢五七五名の未来の日本を背負う生徒達をお預かりし、五三名の教職員で新たにスタートいたしました。

今春の卒業生は国公立合格率六六％県内二位と健闘しております。高い志を堅持し、先輩を目標とし、後輩から目標とされる「挑戦意欲旺盛」な若武者揃いです。

「ひたむき」と「下向き」の一字違っただけで人生が逆転する。「夢を語り合う教育活動」、校歌に謳われる「愛あり仁ある人」情の深い生徒や教職員をテーマに掲げています。

「努力する者は希望を語り、怠ける者は不満を語る」のごとく、多くの希望や夢を語り合った学校経営を目指します。今後ともより一層のご支援をお願いいたします。

母校出身で活躍するたくさんの方々たち。今回は、独立行政法人 国際協力機構 アフリカ部次長の加藤隆一さん（57回卒）を、母校を卒業してまだ二年の現役大学生田澤香織さんが訪ねました。

○この職業に就いたきっかけは？

—高校時代に、漠然と「海外に行きたい」という思いを持っていました。ラジオから流れてくる海外の放送を聞き、外国が自分の近くにあると感じて朝鮮半島や韓国などアジアに興味を持ったことがきっかけです。特に国際協力の分野では、かつて途上国であった日本だからこそできることがあるのではと考えました。

○JICAで勤務されている方はどのくらいいらっしゃるのですか？

—現在、一六六〇人強の職員が国内外で働いています。その中で、二、三割は女性が占めています。女性は適応力が高く、男性よりもたくましいように感じます。酒東OGも二人いますよ。

○日本以外の勤務経験はありますか？

—JICAでは主にアフリカに対する支援を担当し、今までフランス、コートジボワール、セネガルで勤務しました。現地では、道路などの経済インフラ整備、地下水開発、学校建設、保健人材育成等、現地の経済開発、生活改善などに貢献するプロジェクトのマネジメントや相手国との交渉、調査を行いました。内戦に巻き込まれ命の危険を感じたこともありましたが、現地での仕事は、日本の価値を伝えていく仕事であると同時に、逆に学

あの前輩に会いたい！

独立行政法人 国際協力機構（JICA） アフリカ部次長

加藤隆一（57回）

インタビュアー・文
田澤香織
（筑波大3年）

ぶことも多くあります。

○現地勤務で一番学んだと思うことは何？

—「家族」や「コミュニティ」の大切さです。日本では、人々のつながりが弱くなっている現状があります。アフリカでは遠い親類も大事にするなど見習うことが多かったですね。

○この仕事に対する思いややりがいとは？

—経済・社会・文化のグローバル化が進む中で、天然資源に乏しい日本は友好国と信頼関係を築き、他国と相互に依存しながら、生きていく必要があります。国際協力は相手国の発展に貢献しつつ、日本の価値を伝える一つの重要な外交手段ですので、日本の代表であるという思いを常に持って、仕事に努めています。また、私は自分の足で現地に行くことを大事にしています。今では本やインターネットでバーチャルに現地の情報を得ることはできますが、におい、色、



ぬくもりを直接感じたり、データを自分の目で確かめることが重要だと感じています。

○仕事をやってきて良かったと思う瞬間はありますか？

—昨年、東日本大震災に対しては世界中から支援が寄せられ、日本は、世界最大の被援助国となりました。先進国だけでなく、アフリカなどの途上国からも資金援助や復興に向けた激励のメッセージが寄せられましたが、その多くにこれまでの日本（JICA）の支援に対する感謝の言葉が添えられていたことは、素直に嬉しいことでした。困っている人を助けようという気持ち援助の基本。我々も震災を通じて図らずも援助の原点に気づかされました。

○ありがとうございました。貴重なお話を聞くことが出来ました。



超高齢化社会を 元気に生きる傘寿

小野直正（27回）

昭和五〇年から平成六年まで母校勤務で担当教科は化学。

「自治会役員は前期高齢者で」を自論に自治会長を八年、今は万年副会長を条件に老人クラブの役員を引き受け、自らの前の貸店舗を「おしゃべりROOM」と称して地域に提供し、七五歳から囲碁や健康麻雀等に入門してセカンドライフを楽しんでいます。ここには、町内外から様々な人が来て、交流



小野直正先生元気だが

と相互学習の場となっています。

今年は傘寿。いよいよ八十路Ⅱ人生の最終ラウンドのスタートです。もしもその時の延命治療はナシ。

生きていくうちに人と交流し、毎日を充実させています。

超高齢化社会では、元気な高齢者が、周り的高齢者を励まし見守っていくことが大事です。その方が元気なうちに繋がっていれば「最近おめ出で来ねんでねが？」と声もかけやすいし孤立も防げます。しかし老人クラブに勧誘すると「まだそんだ歳でね」と云われるのが常。「六〇歳で定年、二〇歳で成人は質ではなく暦年」を力説しますが、敬遠され残念です。ポリシーは教育現場にいた時と変わりません。「自分が礎になりうる事があれば」。年相応の元気さで、人と繋がりが続けていきたいと思っています。

（インタビュー 瀬尾亜希子）

酒東NEXT100ホームページ
<http://sakatonext100.jimdo.com>



スガワラ管理サービス株式会社

建物の清掃・設備の管理

代表取締役 菅原 幸夫

（四二回生）

〒一七四・〇〇五六

板橋区志村一丁目一五九

田園キヤッスル志村三〇九

電話 〇三（三五五）七五四六

元木徹法律事務所

弁護士 元木 徹

（昭和四二年卒業）

〒一〇四・〇〇六一

東京都中央区銀座一丁目一八六

電話 〇三（五五四）二九四八

FAX 〇三（五三五）二五四三

遠藤登記測量総合事務所

所長 遠藤 功

（昭和四四年卒業）

〒一九〇・〇〇三二

立川市錦町二丁目二番五三〇号

電話 〇四（一五九）一九三〇

FAX 〇四（一五九）一八四四

高橋企画・編集事務所

代表 高橋 常昭

（四六回生）

〒一九二・〇三六四

八王子市南大沢五丁目一六〇六

電話 〇四（一六七）一八〇九

FAX 〇四（一六七）一八一五

「母校創立百周年記念事業」の一環として「母校支援委員会」が立ち上げた「ゼンゴ塾」は、設立から一年を迎え第二回を開講するまでに至りました。

「ゼンゴ塾」は、「田舎ゼンゴ」という庄内の方言に由来します。就職難といわれるこの時代、関東圏在住の酒東卒の大学生を対象に、関東圏で働く酒東OB・OGが就職活動を支援しようというものです。（詳細は「酒東NEXT100」ホームページ参照）

第一回は学生一二名の出席のもと平成二三年一〇月に開講し、東京亀城会会員の上野榮枝さん（26回）、渋谷英夫さん（43回）を講師に迎え、グローバルな人材の必要性、および外国語習得の重要性について講演いただきました。第二回は、就職活動についてより具体的な話を聞きたいといった学生の要望を取り入れ、学生七名の出席のもと平成二四年三月に開講しました。阿部彩人さん（74回）と今春大学卒業の石黒正彬さんを講師に迎え、「今春卒業生・若手社会人に聞く、就職活動を有意義に過ごすコツ」という題目で講演いただきました。より実践に即した講義内容で学生の注目度も高く、真剣に聞き入る姿が印象的でした。

今年度も二回程度の開講を予定しております。東京亀城会会員の皆様、後輩たちのために広くご支援宜しくお願い致します。

（東根延広64回）



第一回

ゼンゴ塾に参加して

東京海洋大学3年 富樫真柄

昨年一〇月二九日に東京で行われたゼンゴ塾に参加しました。学生の就職支援の後押しを目的としたOB・OG主催の会で、学生にはメール等で連絡が回ってきました。当日は、対象とされていた一、二年生だけでなく、就職活動真っ最中の三年生も含む二人の学生が集まりました。先輩方による講演、昼食をとりながら先輩達とフリートークをするという内容で三時間三〇分ほど行われました。

講演では先輩方が会社就職してからの仕事の姿勢、就職してから今まで歩んできた道のりを聞くことができました。先輩方は口々に「英語力、語学力」の必要性を語っており、集まった学生は皆強く印象に残っていると思います。また一、二年生にとっては、OB・OGの先輩方の話はもちろん、間近で就職活動に取り組む三年生の姿勢を感じることができたよい機会になりました。ゼンゴ塾を開催していただいたOB・OGの先輩方々にこの場をお借りしてもう一度お礼を申し上げます。

23回

三・一一を 超えて行こう

後藤 健

余震が続き放射能汚染の実態も不明で何人集まるか心配があったが、六月一日「うすけぼう」に九名が集まった。前回紹介の鈴木「気泡博士」は海外遠征中、相馬元市長は土門拳記念館行事のため欠席。また帰宅困難が心配で逡巡した人もあったようだ。

相馬市長の回顧録「草鞋を作って二〇年」を回覧して首長の苦労を痛感、期待した生の解説は次回まで「乞うご期待」になった。歓談に先立ち風間医師から「前立腺肥大」の講話があり、自覚症状などの質疑で忽ち診察室に早変わり。高齢男性の同期会に特有の風景になった。



28回

一〇年後の米寿に 向け意気軒昂

前田 滋

幸い地震・津波による被災者は無かったようだが、福島原発事故について、政府・東電の事実隠蔽としか見えない発表と、基準不明の緊急停電に「当事者能力欠如」の批判が相次いだ。「ああ見よ島海七千餘尺」を斉唱来年の再会を約して解散した。

四月二日、東京二八会の総会を二年前に開催した。会場の市ヶ谷私学会館に酒田からの二名を含め、二八名が参加した（昨年は東日本大震災の為開催を自粛）。冒頭、金山会長の一身上の都合による辞任表明があり、直ちに次期会長に前田滋を選出。その後、酒田の佐藤、高橋両氏から故郷の近況報告があり、一同酒田へ想いを馳せた。



乾杯後の宴会は、特別企画のカラオケの競演となり、盛り上がり続けた。途中、現在もバレエ教室を主

31回

エキゾチックな 横浜巡り

真田守之

宰している井村女史の指導による「背伸び体操」で皆リラックス。最後は、恒例の「故郷」、「東高校校歌」の合唱に加え、初めて「山形県民歌」を歌ってお開きとした。

今年は全員が七七歳に達し、喜寿の祝いを兼ねた開催となった。元氣一杯の参加者から十年後の二八会は米寿祝いをテーマに開催しようと夢の提案があり、拍手があがった。

JR桜木町駅に降り立ったが、目の前に静かに帆を休める練習船「日本丸」が浮かび、その上に横浜「みなとみらい」のビル街が近代的な横浜を見せている。まず可愛らしく彩られた「赤い靴」号に乗って、約一時間「赤煉瓦倉庫」、「中華街」、「港の見える丘公園」そして「馬車道」をゆつくり走り、子供に帰ったようにエキゾチックな横浜の思い出を辿った。



をゆつくり走り、子供に帰ったようにエキゾチックな横浜の思い出を辿った。



昨年十一月一四日東京燦々会の懇親会を五組が幹事となつて、新宿の京王プラザホテル四七階の宴屋「おおぞら」にて開催した。天候にも恵まれ関東内から四三名が集まり盛会。参加者全員の近況を聞きたかったが、限られた時間。今回も初参加の人と各組を代表して一人づつの近況を述べて貰った。二組は大震災の日

33回 津軽三味線「さかた幻燈記」に涙 高橋哲也

横浜港の広がりが目に入る「インターコンチネンタルホテル」は、風を孕んだヨットの帆をモチーフにしたスマートな外観で、晴れの門出を祝う若人達の人氣的だ。花嫁・花婿達の間をすり抜けて上った三階の白壁の部屋に、久しぶりに集まった三一会の面々は、時の経つのも忘れがちに、思い出や家族の事など話した。楽しさや懐かしさにほぐれて来た言葉は、いつしか庄内弁のアクセントが滲んでいた。

に銀座「おばこ」にてクラス会の最中だったそうで家に帰れず帰宅困難者になった人も。剣道部で活躍した四組の堀君は重い病を乗り越えて、今も子供達に剣道を教えているそうだ。平成二十一年に「ひばり伝・蒼穹流謠」を著した芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した俳人の齊藤頼爾君は詩心から感ずる故郷への郷愁を語ってくれた。今回の例年は趣向を変えて、酒田市出身の津軽三味線演奏家の岡田修さんに三十分間の生演奏をお願いしたのが、特にオリジナル曲「さかた幻燈記」の熱演が心の琴線に触れ涙したのは私一人ではなかった様である。終りには酒東校歌・応援歌として高校三年生のメロディーに乗せた東京燦々会の歌を斉唱し閉会とした。

今年二月には、相馬弘君の尽力により銀座「おばこ」にて「寒鰯汁を楽しむ会」に燦々会メンバー二〇数人が集い、昔懐かしい庄内の郷土料理を堪能した。解散後には近くにある山形県のアナテナショップに立寄り、それぞれ山形県産の名物を家族に持ち帰るのが定例となっている。

34回 みよし会熱海ツアー 渡辺綱二

東京三四会の平成二三年中の活動は新年会から始まり、上野公園での勸桜会そして東京亀城会総会への参加、暑気払い、毎回一五名以上で友情を深めております。

三四会総会秋の旅行は一〇月一日各地より上野の「パークサイド・ホテ



ル」に集合、参加者三二名、大宴会は大盛況で、二次会には新橋の「遊石」へ。翌日は皇居見学、新しい二重橋を渡り（本物の二重橋は一般の人は通れません）一般参賀が行われる宮殿東庭のバルコニーを近くで見えて来ました。続いて、江戸東京博物館、スカイツリーを見て熱海「金城館」へ。連休明けなのですいておりカラオケルームは貸切り。おおいに盛り上がり、最後は「酒東三四会の歌」（作詩浅沼久美子氏、高校三年生の曲）を全員で合唱しました。翌三日目は横浜、鎌倉観光。有名な「江ノ電」が走っていました。単線なのにびっくりしましたが、風景にだけ込んできました。

今秋は飛鳥で会いましょう。

35回

古希を過ぎて益々 進化する珊瑚たち

阿部 浩

私達東京珊瑚の会は三二回目の新年会を迎えました。会の主な行事は新年会に始まり春秋のゴルフコンペ、東京亀城会、歳時の飲み会等です。

昨年は東北人として行事を自粛する事も有りました。その反動か、古希を過ぎても皆元気で恒例の新年会も益々進化して盛会でした。磨きの掛かった余興を紹介しましょう。詩吟の坂野君は岳風流の総伝（師範の最高位）。東京都の大会で上位入賞数回、その節調は絶品です。富樫君の最上川舟歌これ又



素晴らしい、今年には女性初めて佐藤洋子さんが美声を披露してくれたのは嬉しかったですね。正治郎君の小唄も自らの三味線で皆うっとり！
そして今年には酒田珊瑚の会新年会と同時間催で初コラボ。メール、写メールの遣り取りで、来年は動画、テレビ電話か？

他にも母校支援委員会の「ぜんご塾」への協力等。珊瑚達の多才な技を紹介し切れませんが、更なる進化を期待し元気に再会を約束、散会しました。

36回

名幹事 齋藤昭一さん にお疲れ様でした

本宮正幸

かねてから癌で療養中の齋藤昭一さんが平成二十三年一〇月一日に亡くなりました。

思い出せば丁度三〇年前、亀城会の当番幹事の年です。齋藤昭一さんが発起人になり、船山さん小野さん小永光さん宮下さんの皆さんが中心になり同期の方々の情報を集め山麓会を立ち上



則子夫人を囲みお別れ会

げました。働き盛り四〇歳でした。

昨年一月二〇日に四谷駅前「スクワール麹町」にて昭一さんのお別れ会が行われました。創立メンバーの皆さんや、久々にお会いする船山さん、荒生さん、後藤勝弘さん高坂さん方々、また仙台からは池田賢司さん、酒田から中村護さん、名古屋から齋藤薫さん、身延から小野正夫さんの方々にお集まりいただきました。また、鳥海中の同窓の皆さん、「ふれあい酒田」の皆さんなど総勢四八名ほど集いました。

昭一さんはその親密な熱心さから同窓会、ふるさと会、商談会等いろいろの会の幹事役を引き受けていました。鳥海中の皆様から昭一さんへのお礼の言葉あり、お人柄が忍ばれます。

典子夫人を囲み、みんなで行った京都、新潟高田高野の旅行などの思い出話は尽きませんでした。まだあの訛りがある声が聞こえてきます。昭一さんのご冥福を祈ります。

酒田の定例会は八月一五日に開催予定。ご期待ください！

37回

今年は幹事年 なかよし会

本間勝弥

三七期なかよし会は年二回開催しておりますが、昨年二月一七日いつものごとく中井君の世話で信濃町の三井住友銀行会館で開催されました。

年二回というのは幹事さんにとってはかなり大変な事だと思います。永久幹事の熊谷君他幹事の皆さんがバイタリティ溢れる活躍で切り盛りしてくれるので長く続けて来られたと感謝、感



謝です。今回は亀城同窓会会長に就任の同期杉山健二君が来られて大変盛り上がりしました。杉山君は退職して今は自分の農園経営に頑張っています。体もしまり遅くなつて

高校時代の様にダンディでした。加賀君は今も現役ばりばりで日中間を駆け回っています。武山隆子さんは武蔵野女子大の教授。中井君は社長業で大変だと思えますが顔色を見ると順調にいつているのが分かります。

退職した人も新しく趣味や目標を持つて頑張っています。高久君は昨年の東京マラソンで三時間五七分で完走、長浜君はソシアルダンスの為に毎日筋力トレーニングを欠かさないとのこと。何事も本格的になると人知れぬ努力をしているんだと頭が下がります。ボランティア活動に取り組んでいる人達もあり、何かしら熱中できるものを探するのは今も青春時代に生きているという証です。しかし人生最大の成功者は阿部君でしょう。大勢の子供や孫たちに囲まれて新年のお祝いをするというのは素晴らしいです！

今まで参加されてなかった人達も是非参加してください。心から歓迎いたします。また今年、三七期は東京亀城

会の幹事年になっています。是非ご協力をお願いします。

42回

絆強い蜂の会

菅原幸夫

我ら四二回生は、いつも元氣だ。毎年三月の池袋での同期会、六月の山形での同期会、八月の酒田での同期会、それに横浜方面での年五回程のミニ同期会。いつもどこかで仲間が飲み食べ笑っている。そこにはいつもサブライズがある。本年三月三十一日の池袋同期会には、酒田から四人の参加。皆おぼげだり懐かしんだり。三〇数名が大結集。初めに「最上りの流れに」。「白熱の氣の」と、校歌・応援歌を皆で大合唱。そして乾杯。

定年後の生活、趣味の温泉入湯、山歩き、親の介護、チョコットボランティア等々、大きな声が飛び交い話題はつきない。庄



内のうめもの「しそ巻き」「からげ」「きもと」が、お酒をいっそうおいしくし、話を盛り上げる。次回も元氣に会おうねと、再会を約束。共に悩み共に喜ぶ我らは、

互いに同期であるという絆強い四二回生である。

44回

「夜明けのうた」を歌おう

佐藤登喜

二月四日、我われ「いなほ会」のメンバーは、去年の春分の日に亡くなった桶渡登君(都留文科大教授)の墓参りをした。真新しい墓には「愛笛」と刻まれていた。彼は笛(フルート)を愛し、自分でも体に似ず器用に吹いていた。大好きだったのは笛のほかに日本酒。国語学の先生だったが酒が入ると庄内弁丸出しで、最後まで庄内訛りで話していたという藤沢周平に通ずるものがある。そういえば我らの偉大な先輩・岸洋子さんもリサイタルでは絶妙のタイミシングで庄内弁を使つた。

墓参りのあとの一行は、三鷹から杉並に向かった。年一回の「いなほ会」は定例新宿や銀座でやっているのだが、今年は杉並の大官でスタジオを経営する「いなほ会」荻野早苗さんの地下スタジオでやった。参加者は十人と少なかったが盛り上がった。

幹事の伊藤太くんが田舎から材料を取り寄せて「どんがら汁」をつくった。季節はずれなのでいい材料を入手するのは難しかったが、太くんの姉さんが手紙で指南してくれたおかげで旨く出来た。

「どんがら汁」をたらふく食べたあとはスタジオをカラオケ会場に替えて歌いまくった。今だに三橋美智也やアイジョージの曲を歌いたがる御仁がいるのは我われの世代までだろうか。

同期会・昨日 今日

もし、あそこに桶渡君がいたら間違いないく「夜明けのうた」を歌っていただろう。彼は、この曲が大好きだった。そういえば、被災地で歌っている歌手のクミコがラジオで言っていた。「岸さんの夜明けのうたには歌の力というものを感ずる。聞いていると勇気が湧いてくるのです」。

「夜明けのうた」は、昭和三十九年に岩谷時子の作詞、いずみたくの作曲で最初は日本テレビのドラマ挿入歌として主役を演じた坂本九が歌った。ところがヒットしなかった。それを岸洋子が、あの美声で朗々と歌い上げてヒットしたのだった。

長いトンネルに入ってしまった日本。こんなときこそ、歌いたい一曲。それが岸洋子の「夜明けのうた」である。若い人の中には、日本にこんな曲



さらに、御船潔が管理している四七会ホームペーには酒田と東京の同期会の写真が掲載され、掲示板でいつもコミュニケーションがと

私たちが四七回は、首都圏在住者を中心に十数年前から、年一回、都内で同期会を続けています。酒田から同期会実行委員長の岩波豊君が、京都から渡辺清君も、毎回駆けつけ、五、六時間わいわいやりやります。昨年は、一月二十六日(土)に、世田谷区大原の「ピストロ瀬田亭」で、男女一八名が集まり、おいしいワインと、毎回酒田から参加する矢野博之君持参のおいしい漬物が加わって、時間が経つのも忘れて盛り上がりしました。

この会が続くのは、酒田の同期会実行委員の協力と影響が大きく、事務局長の桜井健君からの毎年の連絡がとても楽しみです。

47回

酒東元気でいる会

松本康裕

があったのかと言う人もいるのだとか。



さて、今年の八月一日には、酒田で盛大に卒業二五周年記念同窓会を開催します。詳細は、<http://sakato62.web.fc2.com/>をご覧ください。

無二の会は、毎年三月第一土曜日頃に、定例同期会を開催することになっています。昨年は、六組が幹事でした。三月は東日本大震災で開催できなかつたため、七月二十四日に開催しました。前日に場所(お店)が変更になるというハプニングがありました。一四人が迷うことなく集まりました。その日は日曜日でしたが、とても盛り上がり、終電を逃した人も。参加者は一様に「その週はとても眠かった」とメールで感想を交換しました。

今年は、一組が幹事で、二月二十四日に一五人が集まり開催しました。お店の営業時間通りに終わればちょうど終電に間に合ったのですが、お店の方が電を使つて下さり延長になったため、終電を逃した人が続出しました。

62回

卒業二五周年

宮本健一

れており、バラバラになってもどこにいても繋がっている感じがします。

◆酒東柔道部 東京支部OB会

前会長 中山 誠 (35回)
(演歌及び歌謡曲・作詞家)

東京支部OB会は毎年開催し今回で四十年近くなります。今年は上野近くの御徒町の越後谷で行いました。青春時代の懐かしい思い出を演歌調で作詞してみました。

☆燃える闘魂

一 勝つと心に 誓ったからにや
後に退けない 一本勝負
ズバリ並んだ 強敵たちを
アツと言わせる 秘策を胸に
今は懐かし 青春時代
燃える闘魂 酒東健児

二 逃げて勝つより 果敢に攻める
負けてたまるか 全力勝負
力不足も あの娘の前じゃ
強さ百倍 チャンスは来たる
今は懐かし 青春時代
燃える闘魂 酒東健児

三 勝つて奢らず 相手を称え
心技一体 真剣勝負
辛い・辛せ 似ている文字は
辛さ乗り越え 辛せ掴む
今は懐かし 青春時代
燃える闘魂 酒東健児

(どなたか会員の中で作曲してください。有志の方がおれば嬉しいですよ。ボランティアで遊び心で結構です。)

◆まだ現役で芝居作り

演劇プロデューサー／演出家
木山 潔 (36回)

今年の秋に何と七〇才になる。今までとりとめのない生活が続けてきたせいか、いささか困惑している。演劇の世界でも世代交代が進んでいるので、もう引退の頃合いかと思いついて、今度もまた『やつてきたゴドー』(別役実作)という作品を演出する。ベケットの名作『ゴドーを待ちながら』をパロディにした作品で、テーマを敢えて一言で言えば『待つ』という行為が現代人には希薄になっている状況を描いている、ということかな。相当に難解な作品だが、軽やかで喜劇的な舞台にしたいと思っている。一二月にはパリのベルリンでも上演するので、かなりの



緊張を強いられ
ている。芝居を見慣
れている人
は「何だ、こ
れは？」とび
つくりされる
かもしれない
一興かと。五月二三日(水)―二七日(日)
・会場Ⅱ俳優座劇場(六本木)
・申込Ⅱ木山事務所へ。
TEL 03・5958・0855
「亀城会」の某某と申し添えていただ
けたら割引料金(四五〇〇円全席指定)
になります。



◆二木てるみ朗読公演と 庄内町講演

俳優 佐藤 輝 (39回)

昨年TBS系で放送された水谷豊主演の『居酒屋もへじ』は何度も再放送されて僕が演じた常連客鰻屋フジモトも好評でした。ヒロイン陽子(松坂慶子)の故郷が山形の日本海の町という設定も話題になり、今でも時々感想を聞きます。



写真：TBSドラマ特別企画『居酒屋もへじ』

NHK-FMの江戸川乱歩シリーズには名探偵明智小五郎の相棒波越警部役で『黄金仮面』に続いて『魔術師』に出演。映像の荒井注さんを超える説得力だ、嬉しい。二木と二木はNHKラ

ジオ、舞台『三平物語』『おしん』、僕が構成した庄内町での『生きるよろこび』などで共演しましたが、今年一月には赤坂の劇場で二木さん企画の朗読公演で共演します。

十一月には小学校創立五〇周年記念講演を故郷の庄内町で行う予定で、僕の感性を育んでくれた庄内地方の、他にはない風土の素晴らしさと、自分らしく生きるための夢を持つこと、想像することの大切さを語りたいと思っています。

◆第三七回東京亀城会 ゴルフコンペ

澁谷英夫（43回）

今年もゴルフシーズンがやってきました。当コンペも早三七回を数え、参加者の顔ぶれも大分変わりましたが、常にご参加いただいている方々もいて、越後谷先生（16回卒、89歳）を中心に和氣藹々と楽しいながらも真剣なプレーを毎回展開しております。

さて、今回は三一回から四名（鈴木、村上、阿部、青塚）、四三回も四名（五十嵐、白旗、中村、澁谷）、四四回から三名（遠藤、門脇、伊藤）そして一六回の越後谷先生（東工大、名誉教授）



と総勢一二名が集い、三月二日、東京国際ゴルフ倶楽部で熱戦の火蓋が切られました。（今回は常連の三六回西村、三八回松本、四〇回土門、四三回野女史が欠席でちょっと参加者が少な目でした。結果は、ベス

グロは遠藤氏でしたが、実力者の五十嵐氏が優勝、二位はハンディに恵まれた伊藤氏、三位は常に堅実な村上氏でした。過去に連続三回優勝経験の鈴木氏は往年の執念に陰りが見え七位と低迷、その他のプレーヤーも僅差で入賞を逃し、次回以降へ雪辱を期し、お開きとなりました。参加者全員に感謝。（新会員募集中です）

◆しずちゃんトレーナー 壮行会

石山尚徳（49回）

四月二〇日酒田市のガーデンパレスみずほで行われた、女子ボクシングでロンドン五輪を目指すお笑いコンビ・南海キャンディーズの「しずちゃん」こと山崎静代選手と、梅津正彦トレーナー（酒東六二回卒）の壮行会に参加した。

同会はボクシングトレーナーのみならず映画やドラマのボクシング指導等で活躍している梅津正彦氏と同級の六二回卒の有志を中心に企画され、参加者は二〇〇人を超える大盛況。

途中「風の会」の勇壮な和太鼓のアクションをはさみ、酒田舞妓から花束（写真）、有志代表からの激励金目録が贈呈された。東京亀城会からも



五万円の激励金を贈呈。梅津氏は山居倉庫でラッピングした想い出や、山崎選手は「五輪出場の手は「五輪出場の手は「五輪出場の報告を酒田でしたい」と抱負を語った。

この会報が届く頃には、結果が出ています。乞ご期待！

昭和二八年卒
酒田東・西高校

東京二八会

会長 前田 滋

事務局 松戸市小金原七十一一
五十五 五十嵐 昌士
〇四七―三四五―四〇八四

昭和二九年卒
酒田東・西高校

東京ふくの会

連絡先 本 間 英 生
自宅 〇四八〇（三三）四〇三七

酒東昭和三一年卒業

東京亀城会総会で会いましょう。（六月三〇日）
関東三一会総会に参加しよう。（十一月）

関東三一会

有志一同

連絡先 眞 田 守 之
自宅 〇四二七四六―三〇八九

昭和三三年卒
酒田東高校

東京燦燦会

代表 相川俊明
連絡先 阿部尚記

TEL/FAX
〇三―三九四八―三三九〇

平 田



◇平田鳥海南麓そばオーナー募集！

「鳥海南麓そば栽培グループ」が、農家と都市住民との交流を図り、農業への理解を深めていただくことを目的に行っている大人気の事業で、11年目を迎えます。種まきから刈り取り、そば打ちまで、全て手作業にこだわったそばづくりを体験できます。また、収穫したそばは、オーナー特典として受け取ることができます。鳥海南麓そば栽培グループ特製の手打ちそばは、風味豊かでコシが強く、本当に美味しいので、ぜひどうぞ。

年会費：1口5,000円（会食費用は別途）

特 典：収穫したそば粉約3kgもしくは玄そば（殻付きのそばの実を乾燥させたもの）8kg（申し込み時に選択）

活動内容 8月上旬種まき、9月上旬 そば花見（そばの会食）、10月上旬刈り取り、10月下旬そば打ち体験と新そば試食、農作業はすべて手作業

申込みは、7月15日までに電話で平田総合支所建設産業課内そばオーナー事務局まで。電話は0234-52-3915へ（申込書をお送りします）

（平田総合支所長 石川忠春）

八 幡



◇「ヨーグルト」と「家族旅行村」

今「鳥海高原」といえば「鳥海高原ヨーグルト」と「鳥海高原家族旅行村」が人気上昇中です。

「鳥海高原ヨーグルト」は、2001年から販売を開始し、八幡地域を代表する特産品として定着。おいしさの秘密は、八幡産の新鮮なおいしい牛乳だけを使用し、添加物未使用でナチュラル＆健康的なこと。「のむヨーグルト」の他、八幡産の大豆をしばった豆乳を加えて発酵させた「豆乳&ヨーグルト」や「ヨーグルトゼリー」など種類も豊富です。また、ヨーグルトを使ったリキュールやタルトなどの商品も続々開発されています。

「鳥海高原家族旅行村」は、昨年度東日本大震災で被災された方への「鳥海高原リフレッシュ支援事業」を行うなどし、宿泊者数が増加。また、今年度からは市内小学校の自然教室の受け入れなど新しい取組みも行う予定です。ぜひ、皆さまも家族旅行村で鳥海山の四季折々の表情を感じてみませんか。

松 山



◇魅力あふれる公園に～松山歴史公園～

松山地区のシンボルといえる松山城大手門。この大手門がある松山歴史公園、城址公園としての魅力を更に高めるため、新たな整備事業がスタートします。

現在の敷地や周辺土地を活用し、丸馬出し土塁を復元したり、公園内に芝生広場や遊歩道が設置されます。また、松山能の演能や茶道の研修、郷土学習などの講座ができる多目的な施設も新たに建設されます。

事業期間は、平成24年度と25年度の二年の予定です。

城下町として培われてきた松山地域の歴史と文化を象徴し、多くの市内外の人々に親しまれる公園として、生まれ変わろうとしています。

（有）工房庄内 一級建築士事務所 一級建築士 専攻建築士 丸藤 晋 （四六回卒） 〒九八八・〇八四三 山形県酒田市千石町一七二八 電話 〇三三四（二五）八二八 FAX 〇三三四（二二）二八〇〇	医療法人社団衛生会 真坂歯科医院 理事長 真坂信夫 （昭和三年卒業） 世田谷区奥沢五丁目二六番九号 自由ヶ丘栄ビル3階（自由ヶ丘駅南口前） 電話 〇三三七（八）八四七〇 FAX 〇三三七（一八）九一〇九	丸藤宏司法律事務所 丸藤 宏 （昭和四〇年卒業） 〒一〇一・〇〇五五 東京都千代田区神田神保町二二〇 アイエムビル3F 電話 〇三三二（二六）八〇四〇 FAX 〇三三二（二六）八〇四三	相川・田中法律会計事務所 弁護士 相川 俊明 （昭和三年卒） 東京都新宿区四谷一〇九 有明家ビル6F 電話 〇三三三（五三）四六三八 FAX 〇三三三（五三）四三三八
---	---	--	---

酒田



◇華の館と山王くらぶりニューアル マリーン5清水屋はプレオープン

明治26年に建てられた現役の米倉庫「山居倉庫」の2棟を改修した酒田市観光物産館「酒田夢の倶楽」、1棟はお土産品や飲食関係の「幸の館」、もう1棟はミュージアム「華の館」として、櫛並木とともに酒田を訪れた皆様に可愛がっていただいておりますが、この度、華の館がリニューアルしました。江戸時代に山王祭のために作られた亀笠鉾などなどに船簞笥等の伝統工芸品を加え、酒田の歴史や文化を紹介していますが、入館料は無料となりました。

国登録文化財「山王くらぶ」も歴史は古く、明治28年の建設です。大小の部屋を使い分けて、傘福の体験や展示と夢二の間などなど、華の館とは違った酒田に巡り合うことができます。今まで夢の倶楽の「華の館」に展示しておりました、辻村寿三郎さん制作の創作人形「酒田の雛あそび」もこちらに引っ越して、皆様をお待ちしております。

それから、皆様も学生時代によく行ったことと思いますが、清水屋デパート（後に中合清水屋店）がマリーン5清水屋として、飲食部門を拡充するなどしプレオープンしました。営業を続けながら、引き続き売り場を整備し、10月には全館グラインドオープンの運びです。これからも地域の核として、庄内のデパートとして、その発展を願うものです。

今年の酒田まつりの本祭り5月20日は、平成19年以来の日曜日になります。平成21年の創始400年本祭日には、高さ20メートルの立て山鉾が復活しました。19日の宵祭りは（当然ですが）土曜日です。

東京亀城会の皆様、酒田まつりにでもよし、夏の花火ショーにでもよし、どちらも都合のつかない方はいつでもよし、財布を片手にがんばろう東北へ、酒田へ是非お越しくださいませ。市民一同心からお待ちしております。

（酒田市財務部長 村上秀一）

遊佐



◇高級鮭「めじか」の故郷 月光川

雪解けの春の小川を小さな魚が元気に泳ぎ回っています。一見メダカと見間違えるような小魚ですが、さにあらず、4年後には4kgもの大魚となり川面を盛り上げながら遡上する鮭の稚魚なのです。

さて、「めじか」という高級鮭を御存知でしょうか。普通の鮭と比べ、目と鼻の間隔が短いため「目近」と名付けられたとか。近年の標識調査で、「めじか」の故郷が遊佐町の月光川水系であることが判明しました。つまり「めじか」は遊佐町から旅立った稚魚が、ベーリング海でたっぷり栄養をつけ帰郷する途中の若くて脂の乗った活きのいい鮭だったというわけです。

本町孵化事業者と北海道漁業者の間で、資源の確保という共通の思いが芽生えています。「めじか」を通じて、遠く離れた北海道オホーツク地方と遊佐町が協力しあい、「めじか」を増やしたいとロマンあふれる取組を進めています。

（遊佐町産業課長 佐藤源市 49回）

東京亀城会会報第三二号

- 発行 二〇二二年五月三十一日
- 発行者 相川俊明
- 編集人 元木 徹
- 編集 瀬尾亜希子
- 発行所 東京亀城会
- 東京都中央区銀座一丁目181番五
- 井門銀座一丁目ビル五階
- 元木徹法律事務所内
- 問合先 高橋章昭
- ☎〇四二・六七五・八〇九七
- ☎〇四二・六七五・八一九五

昨年の「ぜんご塾」では母校卒の現役大生が多数集い、先輩の話に耳を傾けた。その参加者の中から、今号の会報編集にも携わっていただいた。若い母校出身者の活躍と、亀城会での年齢を越えた交流に期待したい。

（編集・瀬尾亜希子 65回）

皇太神宮（神明神社）修復の件

会長代行・佐藤茂（28回）

神明神社の修復工事が始まり、今年一二月末完成の予定となりました。皆様の多大なるご寄付に感謝致します。皆様のなほ、二〇〇万円ほど資金が現在不足しております。引き続きご協力のほどお願い申し上げます。

（連絡先）酒田ロケーションボックス
〇二三・二四・二四・二四六

平成24年度 総会・懇親会のご案内



■地下鉄 丸の内線・半蔵門線・千代田線・東西線・都営三田線
 ■J R 東京駅丸の内北口より徒歩7分
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2
 Tel:03-3273-2257～9 (直通)

今年の総会は、末尾が「七」の三七回、四七回、五七回が中心になつて幹事をしています。昨年来、絆や繋がり、力が強く認識されていますが、この機会を活かして、先輩・後輩・同期と広く深く懇親していただきたいと思っています。

喜寿のお祝いは、二九回が中心です。お足元に気を付けてお越しください。

酒田からご参加いただける方も多数あります。各テーブルで、そして世代を越えて、大いに語り合ってください。飛び込みのパフォーマンスもお待ちしています。

イベントは、古今亭菊六さんをお呼びしました。若手落語家のホープです。短い時間ですが、伝統的な落語をお楽しみください。

今回は、酒類の持ち込み可です。お気に入りのお酒、秘蔵のお酒をお持ちいただき、話をもちあげましょう。

なお、二次会は、総会会場から東京駅八重洲口に行

●平成二四年度
 総会・懇親会のご案内

●日時
 六月三〇日(土)一五時より

●会場
 大手町サンケイプラザ
 四階ホール
 東京都千代田区大手町
 一七二

●電話
 〇三三二二七三二二五八

●懇親会費
 会員八、〇〇〇円
 学生二、〇〇〇円

●酒類の持ち込み可
 ●イベント
 落語 古今亭菊六

く途中の、この三月にオーブンした芝。(イーヨ)丸の内永楽ビルディング地下一階山陰海鮮炉端かば丸の内店で一八半〇二〇時半に行います。座敷で顔を付き合わせながら、同期の結束をさらに強めていただければ幸いです。

(当番幹事代表
 37回 本間勝弥)

 EPSONブランドを支えるもの 最先端テクノロジーと ものづくりへの熱いまなざし 	東北エプソン株式会社 酒田市十里塚166-3 Tel.0234-31-3131 (代) http://www.epson.jp/tohoku/epson/
昭和三四年卒 酒田東高校 東京三四会 有志一同	昭和四六年卒 酒田東高校 酒東「巽」会 連絡先 高橋常昭 電話 〇四二(六七五) 八〇九七 FAX 〇四二(六七五) 八一九五
昭和三五年卒 酒田東高校 東京珊瑚の会 有志一同	昭和五四年卒 酒田東高校 梧葉会 連絡先 阿部浩美 電話 〇四八(四六七) 二三八二
酒田東高等学校 昭和三六年卒業 我らが集う 山麓会 ここにあり、集まろう 毎年 八月一日 於ベルナール酒田	BIPOS バイボス 美しさを伝えます！ コストダウンでサポート 汎用機・WS・PC・WPのデータを自在に編集・加工 オンデマンドシステムで対応 情報処理のビジュアル化をフルサポート 最短の時間と最小のコストをお約束 印刷の事なら 株式会社 文栄社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-15-4 ☎ (03)3662-1951 FAX (03)3661-9735 http://www.bbe.ne.jp E-mail:buneib@bbe.ne.jp